

### 第3回江東区都市計画マスタープラン 2022 推進会議【会議録】

開催日時	令和4年 11月21日(月)午前10時00分		
開催場所	江東区文化センター3階第1, 2研修室		
出席者 (敬称略・順不同)	<b>【委員】</b> <委員長> 志村 秀明 <委員> 村木 美貴、市古 太郎、川内 美彦、森本 章倫、柳井 重人 <b>【区職員】</b> 都市整備部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、地域整備課長、 沿線まちづくり担当課長		
<b>【議題】</b>		<b>【所管】</b>	
西大島地域のまちづくりについて		地域整備課	
<b>【議事概要】</b>			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料4	本件について、今後どのようなプロセスを踏む必要があるのか確認したい。	準備組合から提出された「事業エリアのまちづくり方針」に、新たな課題に対する区の考え等も反映したうえで推進会議にお諮りし、ご議論いただく。その後、本会議でのご意見を踏まえ、まちづくり方針案を作成し、地域にお諮りしたいと考えている。
2	資料4	本事業エリアのまちづくり方針案は行政と協議した上で地域連絡調整会に諮られ、区へ提出されたと思うが、なぜ改めて区の考えを示し、審議し直す必要があるのか確認したい。	
3	資料4	事業提案へ区の考えを反映するのにどのくらいの時間をかけ、いつ事業の見通しを立てる予定なのか。	事業化に向けては、本事業について地域との合意形成を図ることが重要であり、丁寧に進めていきたいと考える。
4	資料4	再開発事業をやるとなると必ず反対する方がおられる。日本の再開発というのは20年以上かかるのが当然ということも言われているが、世界の基準から考えれば非常に遅い。反対の方がいる中で、いつまでに何をやるべきかを整理し、スピード感を持って検討すべき。	
5	資料3	第3回の地域連絡調整会には、何名の方が参加されていたのか。	参加者は約40名となっている。
6	資料4	防災性強化の方針に記載のある広場については、一体化した方が使い勝手も良いし、量的な利用頻度が上がると思う。	現計画では広場が分散しているが、シームレスの考えのほか、防災上、景観上、あるいは賑わいの観点からも広場をまとめることが可能か、今後、検討していく。
7	資料4	例えば広場3と、再開発ビルの中の商業施設、クリニックモール、保健相談所等の施設が、シームレスに利用できることが重要である。公園と違い広場であるため、建物との関係性を持たせる必要がある。	

8	資料4	<p>広場1に関しては、街側からアプローチするエントランス的な空間であることを踏まえると、その北側にある商業施設等と、一体的となることが望ましい。</p> <p>まちづくりに繋がり、かつ、そのような広場と各施設の日常的な関係性、シームレスな造り込みが、災害時にもきつと有効な手立てとなる。</p>	
9	資料4	<p>災害時の救援活動等も想定した上で、この広場とその周辺各施設との関係性をデザイン及びプログラムすることがとても大事なポイントと考える。</p>	
10	資料4	<p>羅漢寺は、全く動かすことができないのか確認したい。歩道上空地1号の南端は羅漢寺の敷地に接しており、羅漢寺が仮に壁の位置をセットバックし、その部分を移管していただけるのであれば、連続的な歩道空間が造れる。</p>	<p>区としても、安全性や回遊性の面から歩道空間を可能な限り確保することは、非常に重要と考えており、今後、検討する。</p>
11	資料4	<p>防災性強化の方針部分において、広場が分散していることについては残念であると考えますが、やはり分散した場合は、他の委員からの発言にもあったが、どのように接続するかが大事になる。</p>	<p>ご意見を踏まえて対応していく。</p>
12	資料4	<p>防災性の強化という面では、商業施設、保育施設部分の活用が、ファーストステップとして考えられる。おそらく垂直避難の場所等として活用できるため、商業施設の屋上や、低層階とその境目の部分をどのように作るのかは、大事な要素である。</p>	
13	資料4	<p>商業施設の中などは、閉店中は通れないと思われるため、防災性強化の方針部分の図に、動線を書き加えて欲しい。</p>	
14	資料4	<p>他の地区との接続が分かる図が欲しい。今回の図は、西大島地域の北東地区(大島三丁目部分)のみを切り出した図となっているが、例えば本地区の南側にある広場3は、南東地区(大島四丁目部分)とどのように接続するイメージなのか確認したい。</p>	
15	資料4	<p>少し周りを含めて図面を作成し、接続やその整合性について、分かるようにすると良い。</p>	